

社研・唯研活動の強化を

都唯研合宿には、東京理
科大、法政大、東洋大、高
崎経済大、立教大などの唯
物論研究会のメンバーが参
加し、それぞれ交流を深め
た。合宿では山本晴義氏（
大阪経済大学教授）を招き
「日本のマルクス主義と修
正主義」と題する講演が行
われた。

山本晴義氏の講演では、
戦後日本の唯物論が、次々
と提起されてくる諸問題に
正しく対応できる、日本共
産党に代表されるように、
選挙見当ての大衆迎合で宗
教と妥協し、思想上の平和
共存に陥っていることが強
調され、参加した学友に唯
物論を正しく学ぶ必要性を
痛感させた。

また今回の合宿に先立つ
五月二日にも、各大学の
唯研は、合同で岩崎允胤氏
の講演会をもっており、こ

うした活動の上に、この合宿で東京都学生唯物論研究会連絡協議会（準備会）の結成が行われた。

その結成趣意は「哲学は世界の宗教的解釈に対して世界の本源を「水」であるとし、そこから自然・社会の諸現象を合理的・科学的に説明しようとした人類の志向から発生・成立した」

論研究会連絡協議会は………
 っている」——東京学生唯物
 （学生に）科学的世界観の啓蒙・宣伝を組織的に行うことを任務として結成された」と、その結成の目的を述べている。

今日、学生に科学的世界観・人間観を与え、社会発展の正しい方向と、それへの参加の仕方を提起する上

対当局予算闘争
着実に前進

昨年は國際婦
 女連世界會議
 に関する取組み
 利を守れ”と各
 組も、各大学
 活発化してい
 活動をしてお
 人間題について

大阪市大では、昨年度、三度の学生大会に表現された学生の要求を無視し、学費三倍化、市大予算十五％削減が、大阪市・大学当局によって強行された。これに対し、今春から、寮・新サークルBOX・奨学金要

求の闘いが着実に前進をとげている。

まず、四月から十数クラスで生活実態調査アンケート、奨学金要求者の組織化が行われ、部落研や自治会を中心に学生部団交が行われた。さらに昨年度の闘い

き入る学友

の成果を踏まえ、当局による現サークル棟とりつぶし反対・残り三〇室分子算得の闘いも文士連を中心に進められている。

で始まる「青跡
で男性の光に照
性が自らの光に
生きるのだ」と
をよびおこそう

講演に聞
同時に、寮舎全
在、一一〇名新寮の建設と
ひきかえに、現在の寮の摩
耗化が策されており、この
現寮予算維持の闘いも、数
度の対学生部団交を通じて
強気に展開されている。

戦後の民主化
上の平等をつく
しかし、現実
くならず、依然
等は実現されて
私有財産の

宙、海底、ラテンアメリカの各非核地帯条約に引き続く、南アジア、中東、アジア太平洋各地域の非核化条約の実現などがある。

核防批准を起点に、国内平和運動の大衆的圧力で、政府に平和外交への転換を迫り、全世界の核軍縮の流れに合流しよう。

中で、当局は、六月四日以降、トロ諸派の「内ゲバ」を口実に教養の検閲体制を敷き、機動隊の学内導入など弾圧を開始した。

市大学友は、現在「予算獲得・反弾圧」を合言葉にその闘いを一層強化して立ち起つている。

歴史は非常に、
て男性の女性に
人々にはまるで
に、女性自らで
位、私たちの位
まっています。
差別の形態、
異なっても、そ
いません。そ

核防条約の批准と日本
流産した独自核武装計画
世界核軍縮の前進を

五月二日、核拡散防止条約の批准承認案件が参院外務委員会で可決され、二四日の参院本会議でついに可決・成立した。核防条約は一九六八年の国連総会決議で採択され、七〇年三月から発効した。核兵器非保有国が新たに核兵器を持つことと、保有国が非保有国に核兵器を渡すことをともに禁じた国際条約である。それは、一九六三年の大気圏内・宇宙空間・水中での核実験を禁止した部分的核実験禁止条約とともに、核兵器開発競争に歯止めをかけ、世界の核軍縮を進める上で重大な役割を果たした。

日本政府が核防批准に踏み切ったことは、原子力開発の促進などその思惑はどうあれ、戦後三〇年間温め続けられてきた日本独自核武装計画が事実上「流産」したことを意味している。このことは、国際緊張緩和と、核軍縮の前進のためにイニシアを發揮してきたソ連・社会主義諸国を中心とする全世界の平和と愛好勢力、原水禁運動に代表される日本平和勢力の歴史的な闘いの成果である。

この帝国主義者に平和を押しつける作業で先頭に立つて闘ってきたのは、ソ連を中心とする社会主義諸国その提案を国連の場などで積極的に支持してきた民族解放諸国、全世界の平和愛好勢力である。これらの平和攻勢の進展の中で、日本もついに核防批准に踏み切らざるをえなくなった。

いまだ中国とフランスの二大核保有国が核防条約に参加していないとはいえ、有力な潜在核保有国である日本が核防批准を済ませたことは、世界の核防体制を強化する上できわめて重大

の生命と生活を脅かす危険性を多く有していることから、この闘いは必要となっている。いわゆる「核兵器をつくらず、持たず、持ち込ませず」の「非核三原則」は、唯一の被爆国としての国民感情を反映して、日本の核政策に大きな役割を果してきたが、いまだ法制化されておらず、精神宣言にとどまっている。これに強力な法的拘束力を与えるものが核防条約である。原子力の平和利用に関しても、核防条約は、核燃料の安定供給の確保と技術交流に有利な条件を与えると同時に、そ

世界核軍縮の分野には、すでに実現性の高い課題が次々と登場している。ソ連が昨年の第二九回国連総会に提出した「全面核実験禁止条約」は、世界九四ヶ国の賛成—アメリカは反対—を受け、すでにその実現を日程にのぼらせてつある。昨年五月に発せられた新ストックホルムアピールは核兵器を含む全般的軍縮と国連での世界軍縮会議の早期開催を呼びかけている。その他、ソ米第二次SALTの締結、気象兵器など新型大量破壊兵器の開発製造禁止条約、南極地方、宇

は期待できない」とする日本原水協などの主張は、核軍縮に消極的な政府や、自民党タカ派の反動的な動きを助けるきわめて犯罪的な役割を果すものである。

A large crowd of people gathered outdoors, holding a large flag with the Japanese text "全日新聞" (All Japan News) and a sun emblem. The crowd is dense, and many people are wearing hats. The background shows a line of tall, thin trees.

長期化し、資本の産業化・賃下げ攻撃がかけられる中で闘われた。それ以上もの連続倒産や込みを背景に、資本家「支払い能力」をタゲ下げ・貸金自衛を迫った闘った組合

しかし、どんな状況も、労働者は自分の生ければならない。全国上げ三〇、〇〇〇円以上、労働条件改善、権一要求とし、統一交渉で、文字通り一つになを闘い抜いた。

’76 春闘を闘

全金大阪地本・單

七六春闘は、長期均賃上げ率八・八％ついに「一ケタ」を総評指導部の交替もた論議が活発に行われ阪地本・書記長の巢中心に春闘総括から

の学友に影響力を振
ることが望まれる。
結成された連絡協議
各大学唯研合同で、
紙発行等を行うこと
にしている。

闘争

大阪市大

四月から十数クラ
生活実態調査アンケ
奨学金要求者の組織化
に学生部国交が行わ
さらに昨年度の闘い
でかちとれた新サ
ルBOX二〇室分算
木を踏まえ、当局に
サークル棟とりつぶし
残り三〇室分算獲
闘いも文士連を中心
にしている。

同時に、寮闘争では、現
一〇名新寮の建設と
が策されてお、この
算維持の闘いも、数
対学生部国交を通じて
に展開されている。
当局は、六月四日
下口諸派の「内ゲバ」
に教養の検門体制を
機動隊の学内導入な
を開始した。
反弾圧を合言葉に、
大学友は、現在、予算
を一層強化して立
っている。



七六春闘は、戦後最大の不況が
長期化し、資本の産業再編・合理
化・賃下げ攻撃がますます強め
られる中で闘われた。月一〇〇
件以上の連続倒産や操業度の落
込みを背景に、資本家は、企業の
「支払能力」をタテに露骨な賃
下げ・賃金自衛を迫ってきた。
闘った組合ほど
高い賃上げ
しかし、どんな状況にあろうと
も、労働者は自分の生活を守らな
ければならない。全国金属は、賃
上げ三〇、〇〇〇円以上、雇用確
保、労働条件改善、権利拡大を統
一要求とし、統一交渉、統一スト
で、文字通り一つになって今春闘
を闘い抜いた。

七六春闘は、長期不況と資本の激しい攻撃の中で闘われ、平
均賃上げ率八・八％、二一、七五五円（五月三十一日現在）と
ついに「二ケタ」を突破できないまま終わった。労働戦線では
総評指導部の交替もあって、今春闘の総括から運動強化にむけ
た論議が活発に行われ始めている。以下、総評全国金属労組大
阪地本・書記長の栗張氏にインタビューし、全金大阪の闘いを
中心に春闘総括から今後の課題などを伺った。（文責・編集局）

七六春闘は、戦後最大の不況が
長期化し、資本の産業再編・合理
化・賃下げ攻撃がますます強め
られる中で闘われた。月一〇〇
件以上の連続倒産や操業度の落
込みを背景に、資本家は、企業の
「支払能力」をタテに露骨な賃
下げ・賃金自衛を迫ってきた。
闘った組合ほど
高い賃上げ
しかし、どんな状況にあろうと
も、労働者は自分の生活を守らな
ければならない。全国金属は、賃
上げ三〇、〇〇〇円以上、雇用確
保、労働条件改善、権利拡大を統
一要求とし、統一交渉、統一スト
で、文字通り一つになって今春闘
を闘い抜いた。

上回るものである。大企業労組が、経営者は、これを常に労働者
「一発回答」で闘わずして低額妥の犠牲で「解決」しようとする。
結したという日本全体の力関係をこれに押し、まず職場内でそれを
反映して、全金も昨年の二四、〇
〇〇円には及ばなかったとはいえ、
強力に闘ったところではそれなり
に成果を上げていたということだ
である。他の中小民間労組でも、た
とえば合化労連が一三、一八七
金港が一六、五五五円と、組合
内の団結を高めて、地方別、産業
別に統一して徹底的に闘った組合
ほど賃金を歩み寄せている。

合理化との闘い
業績悪化を理由とした首切り・
合理化攻撃に対しても、今春闘中
には、「一人の首切りも一円の賃下
げも許さない」とを合言葉につく上
げを強化し、ほぼこれを実現した。
しかし、資本家は不況を利用して
て執拗に合理化を進めようとして
いる。今日の合理化攻撃は、主と
して一時停業、配置転換、希望退
職を通じて行われている。直接的
な「首切り」はまだ少ないが、一
時停業などをやられると、「うちの
会社も苦しいやなあ」と企業危
機意識があらわれ、結果、労働組
合の闘争力が低下することになる。
中小企業の場合、確かに経営が
苦しいのは事実。だが、今日の中
小企業の経営困難の原因が、原料
高の製品安、差別的な金利、を押
しつけている独占資本と大銀行の
収奪政策にあることは明らかであ
る。度要求の闘いを、職場に基礎を置

労働運動研究

76年 発行所・労働運動研究所
7月号 東京都千代田区西神田 1-4-13 新神田ビル

特集Ⅰ・労働運動の戦場的再建
労働運動の職場からの再建のために／越野雪雄・渡辺二郎
春闘の戦場的再構築のために／和田新次

特集Ⅱ・平和のための闘い
平和のための闘いと革命闘争／松江澄
ヒロシマからのレポート 被爆者援護法をめざして／近藤幸四郎
平和のためのたたかい／浅野昭二
プロレタリアート独裁に関するノート／植村邦
ぶどうとワインの叛乱—南フランスの農民闘争／福田玲三編訳
アメリカにおけるファシズムの脅威と民主闘争／ハイマン・リューマー

日本共産党史 1931・2年の党（四）／内野壮児の教訓（24）

定価 400円
（〒33円）

闘を闘って

七六春闘は、戦後最大の不況が
長期化し、資本の産業再編・合理
化・賃下げ攻撃がますます強め
られる中で闘われた。月一〇〇
件以上の連続倒産や操業度の落
込みを背景に、資本家は、企業の
「支払能力」をタテに露骨な賃
下げ・賃金自衛を迫ってきた。
闘った組合ほど
高い賃上げ
しかし、どんな状況にあろうと
も、労働者は自分の生活を守らな
ければならない。全国金属は、賃
上げ三〇、〇〇〇円以上、雇用確
保、労働条件改善、権利拡大を統
一要求とし、統一交渉、統一スト
で、文字通り一つになって今春闘
を闘い抜いた。

上回るものである。大企業労組が、経営者は、これを常に労働者
「一発回答」で闘わずして低額妥の犠牲で「解決」しようとする。
結したという日本全体の力関係をこれに押し、まず職場内でそれを
反映して、全金も昨年の二四、〇
〇〇円には及ばなかったとはいえ、
強力に闘ったところではそれなり
に成果を上げていたということだ
である。他の中小民間労組でも、た
とえば合化労連が一三、一八七
金港が一六、五五五円と、組合
内の団結を高めて、地方別、産業
別に統一して徹底的に闘った組合
ほど賃金を歩み寄せている。

合理化との闘い
業績悪化を理由とした首切り・
合理化攻撃に対しても、今春闘中
には、「一人の首切りも一円の賃下
げも許さない」とを合言葉につく上
げを強化し、ほぼこれを実現した。
しかし、資本家は不況を利用して
て執拗に合理化を進めようとして
いる。今日の合理化攻撃は、主と
して一時停業、配置転換、希望退
職を通じて行われている。直接的
な「首切り」はまだ少ないが、一
時停業などをやられると、「うちの
会社も苦しいやなあ」と企業危
機意識があらわれ、結果、労働組
合の闘争力が低下することになる。
中小企業の場合、確かに経営が
苦しいのは事実。だが、今日の中
小企業の経営困難の原因が、原料
高の製品安、差別的な金利、を押
しつけている独占資本と大銀行の
収奪政策にあることは明らかであ
る。度要求の闘いを、職場に基礎を置

上回るものである。大企業労組が、経営者は、これを常に労働者
「一発回答」で闘わずして低額妥の犠牲で「解決」しようとする。
結したという日本全体の力関係をこれに押し、まず職場内でそれを
反映して、全金も昨年の二四、〇
〇〇円には及ばなかったとはいえ、
強力に闘ったところではそれなり
に成果を上げていたということだ
である。他の中小民間労組でも、た
とえば合化労連が一三、一八七
金港が一六、五五五円と、組合
内の団結を高めて、地方別、産業
別に統一して徹底的に闘った組合
ほど賃金を歩み寄せている。

知識と労働

第14号発売中

長期不況からの活路と赤字国債問題
……小野義彦
76春闘をどう闘うか……内山達四郎
企業主義の克服と76春闘……吉村勲

「リンチ共産党事件」について 波多然
—この一文を日本の若い労働者たちへ—

日本経済とソ連……石田信一
毛沢東政権の経済政策……高橋春男

編集発行 知識と労働社 発売元 大阪ウニタ書舗

「家事天職論」などが持ち出さ
れ、婦人を家庭の中に、家事と
育児にしばりつけ、労働市場の
調整弁として扱っているのです。
「役割分担論」
「家事天職論」などが持ち出さ
れ、婦人を家庭の中に、家事と
育児にしばりつけ、労働市場の
調整弁として扱っているのです。
「役割分担論」

上回るものである。大企業労組が、経営者は、これを常に労働者
「一発回答」で闘わずして低額妥の犠牲で「解決」しようとする。
結したという日本全体の力関係をこれに押し、まず職場内でそれを
反映して、全金も昨年の二四、〇
〇〇円には及ばなかったとはいえ、
強力に闘ったところではそれなり
に成果を上げていたということだ
である。他の中小民間労組でも、た
とえば合化労連が一三、一八七
金港が一六、五五五円と、組合
内の団結を高めて、地方別、産業
別に統一して徹底的に闘った組合
ほど賃金を歩み寄せている。

合理化との闘い
業績悪化を理由とした首切り・
合理化攻撃に対しても、今春闘中
には、「一人の首切りも一円の賃下
げも許さない」とを合言葉につく上
げを強化し、ほぼこれを実現した。
しかし、資本家は不況を利用して
て執拗に合理化を進めようとして
いる。今日の合理化攻撃は、主と
して一時停業、配置転換、希望退
職を通じて行われている。直接的
な「首切り」はまだ少ないが、一
時停業などをやられると、「うちの
会社も苦しいやなあ」と企業危
機意識があらわれ、結果、労働組
合の闘争力が低下することになる。
中小企業の場合、確かに経営が
苦しいのは事実。だが、今日の中
小企業の経営困難の原因が、原料
高の製品安、差別的な金利、を押
しつけている独占資本と大銀行の
収奪政策にあることは明らかであ
る。度要求の闘いを、職場に基礎を置

上回るものである。大企業労組が、経営者は、これを常に労働者
「一発回答」で闘わずして低額妥の犠牲で「解決」しようとする。
結したという日本全体の力関係をこれに押し、まず職場内でそれを
反映して、全金も昨年の二四、〇
〇〇円には及ばなかったとはいえ、
強力に闘ったところではそれなり
に成果を上げていたということだ
である。他の中小民間労組でも、た
とえば合化労連が一三、一八七
金港が一六、五五五円と、組合
内の団結を高めて、地方別、産業
別に統一して徹底的に闘った組合
ほど賃金を歩み寄せている。

合理化との闘い
業績悪化を理由とした首切り・
合理化攻撃に対しても、今春闘中
には、「一人の首切りも一円の賃下
げも許さない」とを合言葉につく上
げを強化し、ほぼこれを実現した。
しかし、資本家は不況を利用して
て執拗に合理化を進めようとして
いる。今日の合理化攻撃は、主と
して一時停業、配置転換、希望退
職を通じて行われている。直接的
な「首切り」はまだ少ないが、一
時停業などをやられると、「うちの
会社も苦しいやなあ」と企業危
機意識があらわれ、結果、労働組
合の闘争力が低下することになる。
中小企業の場合、確かに経営が
苦しいのは事実。だが、今日の中
小企業の経営困難の原因が、原料
高の製品安、差別的な金利、を押
しつけている独占資本と大銀行の
収奪政策にあることは明らかであ
る。度要求の闘いを、職場に基礎を置

新ストックホルム運動

（生活者の権利・行動のために）
世界平和評議会
（1955年5月、ストックホルム）

新ストックホルム運動
「アピール」に署名しよう！

発行、新ストックホルムアピール支持委員会